

いじめ(かもしれないこと)がおこったら...にきづいたら...

かようしょう せんせい おとな はなし き ひ かいけつ うご だ
 華陽小の先生たちやまわりの大人は、話を聞いたその日から、解決のために動き出します。



あれって、いじめじゃないのかなあ？

- 気づいた子は、どの先生でもいいので知らせてください。
 (先生に話しにくいときは、友達や家族に話す。)
- 知らせを聞いた人は、先生に伝えてください。
 →生徒指導の先生→教頭先生・校長先生と必ず伝えます。



くわしく調べます。

- いじめをした子、された子、見ていたまわりの子などから、それぞれに話を聞きます。
 ※自習にして話を聞くこともあります。
- 聞いたことを全部合わせて、起こったこと(いじめ?)を確かめます。
 ※話が合わなかったら聞き直します。

ほごしゃ 保護者に連絡します。

- いじめをした子、いじめをされた子、両方の保護者に連絡し、起こったことなどを伝えます。

いじめをした子を指導します。



- いじめをした子を指導します。

※いじめの中身によっては、学校以外の人に協力してもらうこともあります。

場合によっては

いじめたことを謝る会を開きます。

- いじめをした子と保護者が、反省の気持ちを話します。
- いじめをされた子と保護者が、気持ちを話します。
- 学校(先生)から、これからについて話をします。



その後も様子を見守り

保護者にお知らせします。

- 指導後の様子について、多くの教師の目で見届け保護者にお知らせします。

